

6月は土砂災害防止月間です

土砂災害は、発生を事前に予測することが難しく、一瞬のうちに多くの人命や財産を奪う恐ろしい災害です。梅雨を迎える6月～11月上旬は、土砂災害が多く発生し、特に台風や大雨、地震などが引き金となってがけ崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害が発生しやすくなります。

自分の身を守るために、次のようなことに注意しましょう。

土砂災害から身を守るために

■積極的な情報収集

大雨警報（土砂災害）が発表された状況で、さらに土砂災害発生の危険度が高まった場合は、気象台と県が土砂災害警戒情報を発表します。その際、市では**避難指示（警戒レベル4）**を発令します。

大雨の予報が発表されている時は、テレビやラジオ、インターネットから積極的に気象情報を入手し、危険な場所にいる方は速やかに避難できるように準備してください。

必要な情報は、市の防災行政無線（スピーカー）やエフエムいわぬま（防災ラジオ）、市ホームページ、市防災X（旧Twitter）、市公式LINEなどでもお知らせします。



■避難経路の確認

日頃から、市の作成した土砂災害ハザードマップで避難場所までの安全な経路を確認し、万が一の事態に備えましょう。ハザードマップは、市ホームページをご覧ください。

■土のうステーションの活用

台風や集中豪雨による浸水被害を軽減するため、自由に利用できる土のうステーションを市内3カ所に設置しています。

設置場所／市役所駐車場東側、
玉浦コミュニティセンター、
西コミュニティセンター



▲玉浦コミュニティセンターの土のうステーション

宮城県防災総合システム MIDSKI（ミズキ）

土砂災害に関する各種情報をご覧ください。ぜひご活用ください。



こんなときには通報を

山鳴り、地面のひび割れ、小石がパラパラと落ちるなどの前触れ現象があったら、直ちに安全な場所へ避難し、次のいずれかに通報してください。

問／危機管理課（☎23-0356）、土木課（☎23-0604）、
県仙台土木事務所河川砂防第四班（☎022-297-4153）

非常時の持ち出し品を準備しましょう

避難の際に必要な持ち物はリュックなどにまとめ、定期的に中身を確認しましょう。

貴重品など

- ☐ 現金
- ☐ 預金通帳・印鑑
- ☐ 保険証・免許証
- ☐ 車や家の予備鍵



健康に関するもの

- ☐ 常備薬・処方薬
- ☐ 救急セット
- ☐ お薬手帳
- ☐ 母子健康手帳



便利品など

- ☐ ティッシュ・タオル類
- ☐ ポリ袋・ラップ
- ☐ 電池の予備・充電器
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 携帯用トイレ



食料品・衣類など

- ☐ 飲料水
- ☐ 食料
- ☐ 衣類・下着
- ☐ タオル



家族構成に応じて必要なもの

- ☐ 生理用品
- ☐ ミルク・哺乳瓶
- ☐ おむつ・おしりふき
- ☐ つえ
- ☐ 眼鏡・老眼鏡



※その他、各自必要なものをご準備ください。

みちのく潮風トレイル 6月9日に5周年を迎えます

みちのく潮風トレイル 概略図



岩沼市に世界から注目される道があります。令和元年に全線開通したみちのく潮風トレイルです。これは、青森県八戸市から福島県相馬市までの全長1,000*kmを超えるロングトレイル（長く歩く旅の道）で、市内では相野釜から寺島までの海岸沿いや阿武隈川サイクリングロードを通ります。

東日本大震災後、環境省の復興事業の一環として始まり、岩沼市を含む29の市町村で協力して取り組んできたことで、今年で全線開通から5周年を迎えます。

みちのく潮風トレイルは英国タイムズ紙で「日本で訪れるべき14の場所」のひとつに選ばれました。トレイルを歩いたことで地域のファンになるハイカーがとて多くいます。これからも、大きなバックパックを背負って歩くハイカーを皆で温かく迎え、一緒にこの道を育てていきましょう。



▲春には桜並木を楽しむことができます
(阿武隈川サイクリングロード)

地図はどこで入手できますか？

みちのく潮風トレイルを歩く際は、事前にHiking Map Book（公式地図）を入手して計画を立てる必要があります。地図はオンラインや沿線のサテライト施設などで購入することができます。



ルート情報▶

注意情報の確認をお忘れなく

台風の影響や工事による通行止めや迂回路などを歩く前に必ず「注意情報」でご確認ください。市町村ごとに検索できます。



みちのくトレイルクラブ
HP「注意情報」▶